

野鳥の楽園 奄美大島



奄美の野鳥の魅力は、この島にのみ生息するルリカケス、オオトラツグミなどの**固有種**や**固有亜種**、そして日本では**南西諸島でしか見られない**ミフウズラやズアカアオバトなど、そして本州とはちょっとだけ違う**奄美大島産亜種**のアミコゲラなどが生息しています。

リュウキュウアカショウビンなどの夏鳥、ムネアカタヒバリなどの冬鳥、シギ、チドリやアカハラダカなどの旅鳥が貴方を迎えてくれます。

天然記念物に指定されている貴重な種も多く、本州では見られないたくさんの種や亜種を森、川、ダム、農地、干潟、海で探してみてください。

ご注意 観察の際は農地に立ち入らない、ハブに注意、繁殖中、旅の休憩中の野鳥には近づかないご配慮を。

資料作成 奄美観光大使、日本野鳥の会神奈川支部幹事 樋口公平

天然記念物が身近に！！



・**ルリカケス**は森や林縁を探してみてください。人家近くにも現れます。ギャーという濁った声がしたら……



・**オーストンオオアカゲラ**は林道などで出会いがあります。ドゥゥゥ……と深い森から大きなドラミングが聞こえます。**アカヒゲ**や、**オオトラツグミ**も天然記念物指定です。

魅力的な夏鳥！！



リュウキュウアカショウビン は4月末～8月末ころ。キョロロロ……という声が聞こえてきます。宿でこの声で目覚めるのは至福のひと時です。



エリグロアジサシ 6月になると、青い海に白く美しいフォルムで飛ぶところが見られます。南国にふさわしい姿を目に焼き付けてください。

夏鳥は4月末頃から8月末まで。連休や土日利用を！

本州と違う冬鳥！！

11月ころから冬鳥が島に渡ってきます。**キセキレイ**や**シロハラ**が濃い密度で見られるなど本州との違いに驚かされます。また、珍しい野鳥が越冬するのも島の魅力。



ムネアカタヒバリ 農地や砂礫地に群れています。タヒバリと思ってよく見ると別の種だったりするのが奄美。



サンバ 10月になると群れが通過します。一部は越冬します。冬にピクイーという声があったところで聞けます。

旅鳥の中継地

3月～5月には北上する**シギ**、**チドリ**の仲間や**ツバメ**類、**ヤツガシラ**など8月は**シギチドリ**類が、10月は**アカハラダカ**など猛禽類が南へ渡ります。一期一会の体験を。



タカブシギ 水田地帯は淡水性シギ・チドリの中継地となっています。



クロツラヘラサギ 沖縄で越冬した個体が奄美⇒熊本⇒韓国の繁殖地へ渡ったことが足環から確認できました。

島固有の亜種

アマミコゲラ、**アマミヒヨドリ**、**アマミシジュウカラ**、**リュウキュウメジロ**、**リュウキュウキジバト**、など奄美や南西諸島の固有亜種がたくさんいます。色が濃い、方言？を使うなど。



アマミシジュウカラ 色が濃く、声も濁っているように聞こえます。



アマミシジュウカラ 色が濃くびっくりします。冬は本州のヒヨドリと一緒にいることがあります。